

平成 29 年度	産業文化部の取り組み実績
	<部の構成> 産業文化政策課、商工振興課、ひらかた賑わい課、農業振興課、文化振興課、生涯学習課

1. 重点施策・事業

(1) 観光施策の戦略的推進	
目標	賑わいの創出や地域の活性化を図るため、淀川の自然や枚方宿といった歴史・文化資源をはじめ、ショッピングモールといった民間施設などあらゆる地域資源を活用し多くの人が訪れたいと思えるまちとなるよう取り組みを進めます。
取り組み	枚方市において活用可能な地域資源の掘り起こしを行い、様々な媒体を活用して情報発信を行います。
実績	社会実証実験として、川原町商店会及び宮之阪中央商店街より簡易宿泊施設 GOEN の宿泊者へのサービス提供を開始したほか、民間の地域情報サイト「枚方つーしん」への市職員による市内飲食店や文化財関係の記事の掲載、クラウドファンディングを活用した商品開発など、本市の地域資源を活用し新たな魅力を創出するとともに市内外へ強力に情報発信を行いました。また、本市の観光施策をより戦略的に展開するため平成 30 年 3 月に「観光施策に関する考え方」を策定しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 新たな名物の開発及び発信	
目標	本市と交野市の共通の地域資源である天野川を活用した「天の川ツーリズム」や、「ふるさと名物応援宣言」の実施等、これまでの取り組みに加え、両市の地域資源を活用した名物商品の開発などにより、さらなる魅力発信に取り組みます。
取り組み	交野市、北大阪商工会議所、民間事業者等と連携を図り、枚方市と交野市の地域産業資源等を活用した新たな名物となる商品開発に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：1,000 千円（交野市：1,000 千円）
実績	市内事業者に呼びかけ天の川・七夕伝説にちなんだスイーツを商品開発しコンテストを実施しました。枚方市と交野市の企業とのマッチングにより誕生した日本酒の広報等の支援を行いました。また、天野川に群生する「セイタカヨシ」等の活用に向けた調査を行っています。
	平成 29 年度決算：997 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(3) 市制施行 70 周年記念事業の実施	
目標	市制施行 70 周年を契機に地域資源を活用した事業を実施し、賑わいの創出やまちの魅力創造につなげます。
取り組み	<p>地域資源である淀川や枚方宿地区において、「音と光のファンタジーナイト」を含む複合イベント「HIRAKATA くらわんかーにばる」や「枚方宿時代行列」を実施し、関連実施する事業が新たな賑わいを創出する地域事業として定着することをめざします。</p> <p>また、本市への愛着や誇りが深まるよう「ひらかた Quiz グランプリ」を実施します。</p> <p>平成 29 年度当初予算：42,200 千円</p>
実績	<p>記念事業を各種団体との協働で行うため、記念事業ごとに実行委員会を組織し実施しました。「枚方宿時代行列」では、約 80 人の参加者が戦国時代や様々な時代の衣装をまとい枚方宿地区を練り歩き、「ひらかた Quiz グランプリ」では、376 人の参加者が枚方の地理や歴史、芸能等のクイズに挑戦するなど、本市の魅力発信に取り組みました。</p> <p>なお、「HIRAKATA くらわんかーにばる」については、台風接近の影響により中止となりましたが、同イベントで上映予定であった七夕の映像を今後活用して、「七夕伝説ゆかりのまち・ひらかた」を市内外に広く PR していきます。</p> <p>平成 29 年度決算：8,623 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入	
目標	指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の導入状況の検証を行い、楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設について、平成 30 年度からの導入に向け取り組みます。
取り組み	<p>先行導入 2 施設の導入状況の検証結果や各施設の多様性、選定における競争性の確保の観点等を踏まえ業務仕様を検討していきます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：113,040 千円</p>
実績	<p>平成 28 年 4 月 1 日に指定管理者制度を先行導入した生涯学習市民センター・図書館複合 2 施設における検証結果等を踏まえ、生涯学習市民センター・図書館複合全 6 施設（楠葉・蹉跎・御殿山・牧野・津田・菅原）及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置付けた牧野北分館（旧市民交流センター）について、平成 30 年度からの指定管理者制度導入に向けた手続きを実施し、指定管理者を決定しました。</p> <p>平成 29 年度決算：113,040 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 枚方市文化芸術振興計画の推進

目標

平成 29 年 3 月に策定した枚方市文化芸術振興計画に基づき、文化芸術施策を総合的に実施します。本計画に掲げる文化芸術活動の拠点施設の整備については、集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点として（仮称）枚方市総合文化芸術センターの平成 32 年度中の開館をめざすとともに、文化芸術アドバイザーの配置や同センターへの指定管理者制度導入に向け、取り組めます。また、本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方を取りまとめます。

取り組み

文化芸術振興計画に基づき、学校へのアウトリーチ事業として子どもたちが直に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、公共スペース等で展示を行い、若手芸術家の育成を支援する事業を展開するなど、具体的な文化芸術施策の推進に取り組んでいきます。

拠点施設の整備については、昨年度に引き続き（仮称）枚方市総合文化芸術センターの設計作業を進め、平成 29 年度中に実施設計を完了します。また、同施設のプレ事業やオープニングイベントのプロデューサーとして事業企画等を担当する文化芸術アドバイザーの選定を行うとともに、指定管理者制度導入に向けた具体的な検討を進めます。

本市には優れた美術作品を鑑賞できる機能や、美術作品などを保存し、調査研究を行う機能が不足しているなどの課題を踏まえ、平成 29 年度中に美術館を含む美術施策の推進に関する基本的な考え方を策定します。

平成 29 年度当初予算：169,438 千円

実績

プロの芸術家を派遣する文化芸術アウトリーチ事業を、小学校 15 校で実施しました。また、若手芸術家の育成を支援する「アート・スプラウト事業」を試行実施し、市民ギャラリー・エプロンと市役所別館 1 階待合室に美術作品を展示しました。



（仮称）枚方市総合文化芸術センターのイメージパース

（仮称）枚方市総合文化芸術センターの設計業務を完了するとともに、指定管理者制度導入に向けた検討として、スケジュール等に関して関連部署と調整を進めました。また、文化芸術アドバイザーについては、平成 30 年度上半期に設置する予定で調整を進めています。

美術施策の推進に関する基本的な考え方については、美術施設運営委員協議会や庁内委員会で具体的な内容について検討し、案としてまとめました。

平成 29 年度決算：269,551 千円（※補正予算等の対応あり）

取り組みに対する達成状況

【 ○ 】

(6) 農業被害対策事業	
目標	近年の急激な都市化や生活様式の変化により、自然環境に大きな影響を与え、野生鳥獣の生息数、生息域が拡大したことから、農作物や農地への被害が生じており、貴重な農地を保全するため、有害鳥獣を一定数捕獲することで、自然と調和のとれた環境保全に取り組みます。
取り組み	大阪府猟友会との業務委託契約により、有害鳥獣の捕獲を行います。 平成 29 年度当初予算：350 千円
実績	大阪府猟友会との業務委託契約を締結し、有害鳥獣の捕獲を行いました。 (捕獲 (イノシシ) 19 件、435kg) 平成 29 年度決算：350 千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、平成 28 年度に策定した経営計画の進捗管理を行い自立を促します。 ・(仮称) 枚方市総合文化芸術センターの運営は、当該施設の基本方針に基づき、公募によるソフトとハード運営を一体化して、指定管理者が担うことから、現在、市民会館大ホールで文化事業を担っている公益財団法人枚方市文化国際財団の今後のあり方について検討を進めます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、平成 28 年 5 月に策定した「中期経営計画」の進捗状況を把握するとともに、外郭団体等経営状況等点検・評価の取り組み結果を踏まえ、補助金の見直しや同協会組織のあり方等について、文化観光協会と意見交換を実施しました。 ・市が(仮称) 枚方市総合文化芸術センターの指定管理者を公募する方針を示し、文化国際財団は「指定管理者には応募しない」ことを理事会で確認しました。これを踏まえ、市と文化国際財団で、解散を視野に入れ、あり方の検討を進めました。
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の導入状況の検証を行い、楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設について平成 30 年度から導入します。

実績	平成 28 年度に先行導入した生涯学習市民センター・図書館複合 2 施設（蹉跎・牧野）における検証結果等を踏まえ、複合全 6 施設、及び新たに牧野の分館として位置付けた牧野北分館（旧市民交流センター）について、平成 30 年度からの指定管理者制度導入に向けた手続きを実施し、指定管理者を決定しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
イベント等の効率的な運営	年間を通してイベント等の事業が多い上に、新たな事務事業が移管になったことと、70 周年記念事業も実施することから、部内応援も含め、効率的な運営手法や体制について検討します。
実績	70 周年記念イベントをはじめ多様な応援事務については、各課の応援人数等をそのつど記録し、負担が一部の課などに偏らないよう体制を組むことができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
効率的な事務執行について	部内のイベントをはじめスケジュールをグループウェアで共有し、日程調整、部内応援体制を円滑に行います。
実績	部内各職員のスケジュールをグループウェアで共有するとともに、部の R ドライブでイベントカレンダーを作成し日程調整を行うことにより、効率的な部内事務応援体制の構築に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆改革・改善サイクル等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

実績	経常経費予算編成時に部内でイベント等に関する精査を行うとともに、各種補助金については廃止を含め、見直しを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力を高めていくとともに、計画的な有給休暇の取得などワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みも促進しながら、業務の円滑な遂行に努めます。

実績	各種研修やOJTにより業務の円滑な遂行に努めるとともに、計画的な有給休暇の取得などワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆産業文化部の業務は幅が広く、それぞれの業務が密接に関係しており、部内職員が産業文化政策の全体像を把握することでさらに充実した施策展開を行うため、部内研修を実施します。

実績	部内研修を実施し、職員が部の様々な事業の知識や問題点について議論を深め把握することにより、今後の充実した施策展開への基盤づくりができました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブックなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めるとともに、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。

実績	広報ひらかたや市ホームページ、公式 SNS など多様な発信方法を積極的に活用するとともに、プレスリリースによるマスメディア掲載や地域情報サイトでの事業周知など様々な手法で施策を周知することができました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆産業振興キャラクター「ひこぼしくん」を市制施行 70 周年におけるイベント等への出演をはじめ、チラシへの掲載など様々な機会を捉え認知度を高めていくことで市内産業の振興と本市の魅力発信のツールとして活用していきます。

実績	市制施行 70 周年関連の様々なイベント出演やチラシ掲載等あらゆる機会を捉え、認知度をあげていったことにより、「ゆるキャラグランプリ 2017」において「ご当地部門＋その他・企業部門」の合算による順位が、2016 年の 241 位から 110 位に躍進しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】